

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表: 令和5年 5月 31日

事業所名 オルタナティブハウスわがや 保護者等数(原章数) 回収数 22 割合 88%

	チェック項目	はい				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	1	2		空間を目的別に仕切るなどの構造化が行われていない。面談する場が別れていないので活動の場と分けてほしいです。クールダウン室がどこにあるかわかりません。	外での活動を重視しているため、室内環境は余り整っていませんでした。今後は面談の場所、静養室を分けていきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	14	7	1		もう少し発達障害について詳しい職員を増やしてほしい。・障害の特性などに対する知識は不安に感じることもあります。	今のところ職員を増やしたり替えることは考えていないので、研修などでスタッフが勉強していく機会を増やしていきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	13	5		段差はたくさんある。スロープはない。	必要な際にはスタッフが手を添えるなどで対応しています。通常の歩行ができる子どもがほとんどなので、発達を促す為の練習する機会としてとらえています。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	18	2	2		保護者のニーズは聞いて頂いているが、子どもの中長期的なニーズは聞いていないと感じる。初回の計画は勝手に作成されていたので相談してほしかったです。(時間がなかったとの事でしたが...)2回目は面談がありました。	初回の計画は、契約時に保護者から聞き取りしたもの、相談事業所の利用計画に基づいて作成しています。幼児や小学生の子どもからは直接でなく、保護者の方からの聞き取りで作成しています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	17	3	2		いつも同じことをしているので、飽きるそうです。	午前中の流れと日ごとの流れは環境の変化が難しいお子さんも多いので、取って同じ型(ルーティン)を作っていくようにしています。騎乗技術の指導内容は天候やその子の状況に合わせて、午後の過ごし方は子どもの意見を取り入れて大胆に変えることも良しとしています。子どもは、やりたいことをやる時が一番楽しくて、一番成長すると信じています。子どもたちにはメニューを与えるのではなく、自分から好きなことをしていけるよう、トランポリンをしたり、遊んだりしながら話し合い、環境を整えるようにしています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	12	5	5		特に聞いたことがないがやっているのでしょうか？	めばえ幼稚園へ行ったり、幼稚園の子どもが来たりして交流する機会があります。山形の放課後デイ・学童クラブも行ったり来たりの交流をしています。全員にお声がけておりますので、ご希望があれば参加してください。その他高校生からも要望がありましたので、今後近隣のフリースクールとの交流なども積極的に作っていきたくと考えています。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	2	2			契約時に説明しております。疑問がありましたらお声がけください。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14	3	5		発達障害については、もっと理解を深めてほしいです。(人により知識不足を感じる時があります。)自分で伝えることができない子が多いから「〇〇をしてこんな様子だった。」という利用した日の様子は伝えてほしい。	毎日写真をお送りしているので、もう少し伝わっているものと考えていました。送迎時にお話していますが、道路状況等でできない事もありますので、今後考えていきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	2	4			子どもの態度などで違和感を感じたときなどは、送迎時やLINEなどでお知らせしたり、お話しするように心がけています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	10	7		父母会など開催してほしいです。	この自己評価票の結果を踏まえて開催したいと思います。その他はマルシェや行事などを連携する機会として活用して下さい。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	9	1			苦情については職員ミーティングや法人全体の問題として話し合い対応しております。LINEや保護者会などで周知・説明させていただきます。
	12 子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	6	1			子ども達とは日々の暮らしの中で話し合う機会を作っていくようにしています。保護者とは何か疑問があった時などに連絡をしております。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15	5	2			LINEで活動概要、行事予定等をお知らせしています。自己評価の結果もLINEと保護者会、めばえのホームページから発表致します。
14 個人情報に十分注意しているか	13	9				写真の共有などもありますが、十分に注意していきます。	
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	13	2			事業所入り口に備え付けております。保護者会など来所の際に説明致しますので、確認してください。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	13	6			2か月に1度、避難の訓練や話をし、逃げ道や考え方を共有しています。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	19	3				ほぼ9割のお子さんが通所を楽しみにしてくれていることが嬉しいです。楽しく過ごしてこそ、良い方向に大きく成長していくものと信じて活動しています。
	18 事業所の支援に満足しているか	18	3	1		ホースセラピーは良いが、ソーシャルコミュニケーションスキルはやっていないように感じます。・安全面に対しては少し不安に感じる場面もあります。・いつもありがとうございます。	騎乗だけでなく、馬と一緒に生活しているすべての時間をホースセラピーとらえ活動しております。ソーシャルコミュニケーションはカードを使うなどの取り出したスキルではなく、スタッフと子どもとの対話や子どもたちとの会議などで実践しております。安全面については他の事業所よりも危険が多いことを鑑みて、充分配慮していくよう、より一層気を配っていきます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。